

検査に当たっての留意事項

○ 検査結果が陽性であった場合には、以下のいずれかの医療機関に連絡をした上で、受診してください。

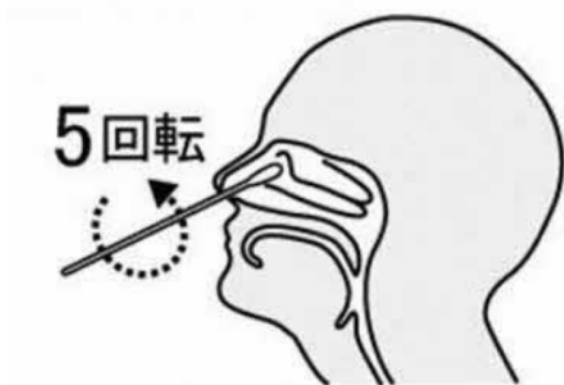
- ・ かかりつけ医
- ・ 自己検査陽性者の電話診療・オンライン診療を実施している医療機関
<https://www.city.sapporo.jp/hokenjo/f4imuyaku/f78anzenshien/zikokensayouseisya.html>
- ・ 発熱者等の外来診療・検査を実施している医療機関
<https://www.city.sapporo.jp/hokenjo/f4imuyaku/f78anzenshien/hatsunetsugairai.html>
- ・ 発熱者等の外来診療・検査を実施している医療機関のご案内については、上記ホームページのほか、「救急安心センターさっぽろ（#7119 又は 011-272-7119）」においても電話相談をお受けしております。

(検査キット使用の一般的な手順)

※詳細は、検査キットの取扱説明書を参照してください。

1 検体採取

鼻腔ぬぐい液採取



- (1) 鼻孔（鼻の穴の入り口）から2cm程度綿棒を挿入する。
- (2) 綿棒を鼻の内壁に沿わせて5回程度回転させる。
- (3) 5秒程度静置し、引き抜く。
- (4) 綿棒が十分に湿っていることを確認する。

注意：同居人等がいる場合は、被検者は、他者と向き合わない方向を向くか、他者とガラス等により隔てられた位置に移動して、実施してください。
他者による検体採取は感染等のリスクを伴う可能性があり、また、鼻咽頭

(鼻の奥) ぬぐい液の自己採取は危険かつ困難であるため、鼻腔ぬぐい液の自己採取によって行います。

2 試料調製

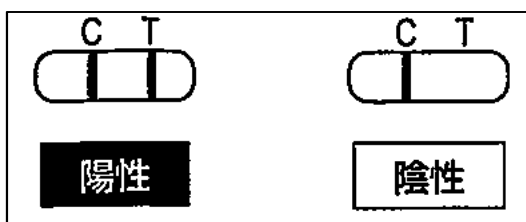
- (1) 採取後ただちに綿棒をチューブに浸す。
- (2) 綿棒の先端をつまみながら、チューブ内で綿棒を10回程度回転させる。
- (3) 綿棒から液を絞り出しながらチューブから綿棒を取り出し、綿棒を破棄する。
- (4) 各キットに付属する蓋（フィルター、ノズル、チップ等）をチューブに装着する。
- (5) 製品によってはそのまま一定時間静置する。

3 試料滴下

- (1) チューブから数滴、キットの検体滴下部に滴下する。
- (2) 15分～30分程度、キットを静置する。

4 結果の判定

コントロール (C) が発色したら、次のとおり判定します。



15分～30分後に、下図のようにコントロールに発色がない場合、判定不能です。もう一度、検体採取から実施してください。



5 判定結果の保存等

検査結果が陽性の場合、スマートフォンを用いて画像として保存するなど、医療機関受診時に医師に提示できるよう、検査結果が分かるものを手元に残しておいてください。

なお、検査結果が陰性であっても、症状が継続する場合等は医療機関を受診してください。